

## 不審電話に関する事例

平成23年6月2日昼過ぎから午後3時頃に掛けて、多治見市の被保険者(82歳女性)宅に社会保険事務所(あるいは社会保険庁。本人の記憶があいまい)職員のモリと名乗る男性から複数回電話があり、「医療費の戻しに関してシステムの変更があり、その関係で3月末に書類を送ったが、返信がないため連絡した。」高額医療費の振込先口座や最後の振込日、キャッシュカードの色などについて訊かれ、答えた。(口座番号は訊かれていない)

3回目の電話の際、同居している(二世帯住宅)娘さんに代わり、詳しく尋ねると「3月末に水色のA4の封筒で書類を送ったが返信がない。」内容について尋ねると「書類を見てもらえばわかる。震災の影響で届いていないことがある。届いてないなら本日再度送るので返信してほしい。提出しないと県庁へ行ってもらうことになる。」と言い、遠方だし高齢なので行けないと言うと「家族の人なりと行って欲しい。家族の人はいつ居るのか。」と訊かれた。

家に取りに来るつもりなのかと思い、「夕方はいない」と答えると、「いつも夕方はいないのか。」と訊いてきた。(家に来る感じではなかったとのこと)

高額医療費の振込元が変わるので、通帳を確認してくださいとい

うことで、電話は終わった。

被保険者が不審電話と思い広域連合に電話したことにより事案が判明。

不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。

問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合

0985 - 62 - 0921（業務課）